

じゅげむ

臨時号

人生100年 シニアを生きる

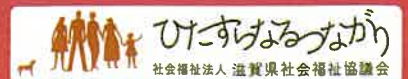
—レイカディア大学40周年—



園芸学科
陶芸学科
びわこ環境学科
地域文化学科
北近江文化学科
健康づくり学科

じゅげむ 臨時号発行：平成30年3月23日

発行：社会福祉法人  滋賀県社会福祉協議会 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 TEL.077-567-3900



情報誌『じゅげむ』臨時号・第4版

目次

シニアを生きる.....	3
シニアを生きる『「サンデー毎日」からの脱却』／『サロン・コスモスを立ち上げて』.....	4
シニアを生きる『レイカディア大学で凄い体験』／『介護とレイ大の両立が叶って』.....	5
シニアを生きる『人生の最後の時まで、楽しく生きる』／『滋賀レイカディア大学の思い出』.....	6
シニアを生きる『趣味から広がる新たな仲間との世界』／『ノルディック・ウォーキングの勧め』.....	7
滋賀県レイカディア大学は40周年を迎えます。.....	8
レイカディア大学のあゆみ.....	9
学長講話／レイカディア讃歌.....	10
人生に期待されて生きる／レイカディア大学入学募集.....	11

第28回ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会

[3月2日現在]

種目	開催日	会場	申込締切	問い合わせ先
卓球	4月29日⑧	安曇川総合体育館	4月16日⑧	滋賀県卓球協会ラージボール委員長 柴田 豊一 090-8823-1817
テニス	4月20日⑧ ※予備:5月11日⑧	希望が丘文化公園 テニスコート	4月6日⑧	北田 充秋 077-545-6285
ソフトボール	4月21日④ / 4月30日⑧ ※予備日:5月6日⑧	大津市和邇市民運動広場	4月2日⑧	大津市ソフトボール協会 理事長 衣笠 孝雄 077-524-9374 / 090-5369-2190
ソフトテニス	5月6日⑧	滋賀県立長浜ドーム	4月21日④	金井 豊 0748-86-0368
ゲートボール	南部会場:5月9日⑧ 北部会場:1班5月10日⑧・2班5月11日⑧	南部会場:竜王ドラゴンハット 北部会場:スパーク山東	4月10日⑧	滋賀県ゲートボール連盟 事務局長 山本 謙照 090-2113-4344
ベタンク	5月24日⑧ 予選(代表決定) ※予備日:5月25日⑧	野洲市八夫 高木神社運動広場	5月10日⑧	滋賀県ベタンク・プール連盟 北川 真造 077-562-8041
ゴルフ	10月10日⑧ 予選 / 11月12日⑧ 決勝	予選:信楽カントリー倶楽部杉山コース 決勝:日野ゴルフ倶楽部キングコース	予選2ヶ月前から受付、締切9月11日午前中 / 先着順 定員になり次第締め切り	滋賀県ゴルフ連盟 0748-86-8288
マラソン	11月11日⑧	近江八幡市立運動公園周辺	9月28日⑧ 予定	水郷の里マラソン実行委員会事務局 0748-33-6303
弓道	5月20日⑧	彦根市菅弓道場	5月6日⑧	中西 邦仁 077-585-0825
剣道	4月1日⑧	草津市立武道館	3月6日⑧	滋賀県剣道連盟 乙須 純一 077-514-3165
グラウンド・ゴルフ	8月1日⑧~9月30日④ ブロック大会 10月21日⑧ 決勝大会	ブロック大会:湖南・ミツ池運動公園他各ブロックにて 決勝:希望が丘文化公園GG場	10月1日④ 予定	滋賀県グラウンド・ゴルフ協会(事務局) 田中 美也子 077-535-0171
太極拳	8月26日⑧	甲西文化ホール	7月1日⑧	滋賀県武術太極拳連盟 初田 茂 090-8989-6776
ソフトバレーボール	4月22日⑧	草津市総合体育館	4月10日⑧	上野 健次 077-562-2721
サッカー	4月15日⑧	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	3月31日④	滋賀県サッカー協会シニア委員会 077-585-0982
水泳	5月13日⑧	滋賀県立障害者福祉センター	4月10日⑧ 正午必着	滋賀県水泳連盟 合田 典宏 077-573-2531
ダンススポーツ	未定	未定	未定	滋賀県ダンススポーツ連盟 伊藤 康雅 0748-33-1006
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習(10時~12時)	東レ園山グラウンド(大津市園山3丁目)	5月31日⑧	滋賀県ラグビーフットボール協会 永田 昭博 077-588-4510
ウォークラリー	5月27日⑧	大津市坂本方面	5月予定	大津レクリエーション協会事務局 077-528-2914
ボウリング	4月29日⑧	栗東ボウリング・ジム	4月6日⑧	滋賀県ボウリング連盟 077-554-4570
ビーチボール	6月16日⑧ ※予備日:6月17日⑧	サンビレッジ(近江八幡市)	5月10日⑧	滋賀県ビーチボール協会 成瀬 豊 0748-53-8838
囲碁	5月4日⑧ 9時受付	彦根東高等学校 第2別館2階会議室	4月26日⑧	日本棋院滋賀県支部連合会 坂本 秀誠 090-4303-5134
将棋	4月8日⑧	コミュニティセンターやす	未定	細川 努 077-588-2905
俳句	未定	未定	未定	未定
健康マージャン	5月20日⑧	Vivacity彦根 第1・第2研修室	5月15日⑧	全国麻雀段位審査会滋賀支部 支部長 廣田 容一 090-1590-4141
ボート	5月26日④	県立琵琶湖漕艇場	5月2日⑧	滋賀県ボート協会 辰巳 富一(膳所高校) 077-523-2304
登山(チャレンジ比良登山大会&志賀ウォーキング大会)	10月14日⑧	比良山系志賀地域	9月14日⑧	大津市体育協会 坂 一郎 077-528-2914
滋賀県シルバー作品展	①5月29日⑧~6月3日⑧ ②6月5日⑧~6月10日⑧	①県立文化産業交流会館(米原市) ②県立長寿社会福祉センター(草津市)		滋賀県社会福祉協議会 レイカディア振興担当 077-567-3900

※第31回全国健康福祉祭とやま大会(年齢制限:60歳以上、昭和34(西暦1959)年4月1日以前に生まれた人) ※日時、場所等変更する場合がございますので、必ず問い合わせ先までご確認ください。
※●の大会は全国健康福祉祭県代表選考大会です。

『シニアを生きる』

平成29年9月、「人生100時代構想推進室」看板掛け及び訓示式が行われ、総理大臣官邸で「人生100年時代構想会議」が開催されました。会議では、リカレント教育*などについて議論が行われました。

みなさんは、寿命が100歳を超えることが珍しくなくなる「人生100年時代」に、どのように人生を生き抜いていきますか？そこで、人生のターニングポイントである60歳を迎え、滋賀県で素敵にシニアを生活している方をご紹介します。

《※リカレント教育とは…生涯教育構想》

先輩方の色々な生き方を参考にし、豊かな100年時代を生きたいな!



病とともに生きる

新たな事に挑戦しよう

就労継続をする

ボランティア活動しよう

しばらく休みたいけど...でも毎日が日曜日になるのはなあ...

芸術・創作活動をしようか

60歳!
これからどう生きる!?

家族介護・孫の世話

健康づくりを心がけよう

仕事とは関係ない新たな仲間探し

何をすればいいかなあ...

シニア大学で何か学ぼう

趣味・研究追及しよう

自治会等地域活動

シニアを生きる。
(ターニングポイント60歳)
何をしようかなあ...

60歳

さあ! 人生の先輩方は、どんな生活をしているのか覗いてみましょう!! 次ページへGO!

「サンデー毎日」からの脱却

大津市
岩田 和彦(71歳)

今年のリタイア10年目、7回目の廻り年を迎え区切りとして振り返ります。

62才の10月に突然の退任、単身赴任先より帰郷。しばらくは饑別のお返しやら、関西でお世話になった方々に挨拶回りなど「今日行くところがある・今日用がある」は、一月ほどでした。しばらくは何もしない事を決め込み、テレビの番と新聞や広報を見て「大徳寺の座禅体験」や「美術館・博物館巡り」「陶芸体験教室」などで過ごし、全くの「サンデー毎日」状態であった。現役時、仕事上休みは日曜ぐらいで毎晩遅くヘトヘト状態、趣味は無く下手なゴルフと麻雀ぐらい。何かしようにも車なしではと一念発起、11月中頃より教習所通いで第2ステージの始まりとなった。

年内に仮免、年始明けに取得、他に資格といえば子供の頃に珠算3級以外なし。朝起きてすぐに和邇浜までウォーキングとストレッチを約1時間。(メタボのため現役時より日が昇る前より始めてはいたが、肩こり・腰痛で週2回はマッサージやハリ通い) 始めの頃は15分程で足が痺れ何度も止まり伸ばしての繰り返しであった。今は全くの肩こりも腰痛もなしし消費もなし。ウォーキングの途中

顔を合わせる人に大きな声で挨拶、畑仕事(当時80過ぎの地元の大工さん)とは顔を合わせては話し、「どこか畑の場所ないやろか」と頼み直ぐに家の近くを紹介してもらった。

野菜栽培はネットで調べたり隣のオバチャン・オッチャンに教わったりで、今も猿とモグラと虫との戦いです。次に始めたのは地元の内公民館で、高校よりの友人が絵画教室を開いており教えてもらうのは面白くないが、ここは抑えて写真しかできないが今も月3回続けている。その次は現役時に世話になった大得意先の元常務(らーめん屋さん)とは今も親交を温めているが、「剣道でもやったらどうや？」の一言で、ネットで調べ初体験入門し、今は道場を変え今春に臆面もなく四段に挑戦する。先生に迷惑を掛けながらヘトヘトでどうなることや、ダメモトでやるのみ。またその次は、近くの通勤電車友達が「レイカディア大学」というのがあるので、ワシは滑ったがどうや」と聞き、ネットで調べ「陶芸学科」に応募し抽選にも恵まれ入学…ものすごく嬉しかった！入学式にはしゃべらないつもりが、案の定近くに住むオバチャンの一言「この人学科長にええで！」が苦勞の始まり。1学年時に「休校騒ぎ」となり、30期の先輩有志の行動に感激！熱いものがこみ上げた。2年生の総学科長と共に賛同。結局は3期サポート隊の(大学の運営を卒業生がサポートすることが条件で存続が決まる)隊長となり、その

時に会議等でお世話になった同窓会代表(当時大津支部長)に義理を果たすべく入らないつもり同窓会に入会し、一昨年より本部副会長と大津支部長の大役でまたまたヘトヘト状態である。故に、言い訳であるが陶芸・絵画に取組む時間も減り全く腕前も上がらないがこれも「縁」と思い使命を全うし次の立派なリーダーにバトンを渡したいとの思いが今の心境である。「親睦と社会貢献活動」を目的に、「会員増と活動参加者増」を目標とし、「心の通えある温かい風土づくり」と「人は勝手に集まる」をありたい姿として掲げ、少しでも近づけるよう皆の「知恵と力」を結集し前進していきたい。

サンデー毎日の脱却から良い意味で「ヘトヘト」の毎日を楽しんでおられますね！



本音にしよう！

サロン・コスモスを立ち上げて

彦根市
佐野 栄美子(67歳)

レイカディア大学を卒業して、4年たちま

した。学んだことも多かったですし、なによりも仲間がたくさんできた事がとてもよかったです。

課題学習で平成25年1月末に米原校レクリエーション学科5名と生活科学学科1名でたちあげた、月1回のサロン・コスモスですが、平成30年1月末に6年目を迎えます。スタッフはバラバラで少しずつ減り現在3名が残っています。レイカの大の35・36期の方々にも助けてもらい、OBの方々にはボランティアをお願いして、数々の特技を披露していただきました。皆さんに支えられ現在も続けられています。

サロンは最初10名ちょっとだったのが28名程に会員さんも増え、昨年、会員さんに謝恩会をやっていたいただき。毎月のサロンと楽しみにしている事、金亀体操を続けていることが会員さんのハーモニカ演奏やカラオケ等聞いて、プレゼントまでいただき、楽しい一日を過ごさせていただきました。こんなうれしいことはありませんでした。

これからも会員さんに喜んでもらえ、スタッフも楽しく過ごせるサロンを続けていきたいと思えます。

サロンでのボランティア活動を楽しむために、自分も楽しんでおられますね！



素敵！

レイカディア大学で 凄い体験

湖西市
山形 範子(75歳)



主人にレイ大を勧めると「おかあさんも行くよ」と主人に言われ、断ると「なら行かない」と主人。仕方なく私も願書を。主人が応募多数による公開抽選漏れ(翌年入学)となり、私が入学。

クラスで文化部長になり、部員男性二人と新聞を作る事に。「パソコンが出来ない、パソコンを持ってたら作って」と言われるも、私も入学直前にパソコンを買ったので分からない。

大教室で、一、二年生の二百人に向けて事務局が「ホームページ講座受講生を十人募集!」と話しており、とっさに、駆け込みで申し込む。

ホームページのクラスで男性九名がドンドン打っている。「皆さん出来るのに何故習うのですか」と問うと、「ホームページは初めて」「ホームページの「ペ」の勘違いで、パソコンを教えてもらえると聞いたのでさあ大変。宇宙語を聞いているよってチンプンカンプン。」

本を見ながらのキーボード練習は億劫で、童謡を「カラスの赤『ア』ちゃん何故泣くの〜♪」と歌いながら、「ア』段は必ずAを打つ事が分かり、左手小指をAの上に、色んな童謡が大きな辞

書となり練習が進んで行きました。

また、パソコンをレイ大へ持って行くくと沢山の方が教えてくれ、初めて新聞が出来た時は嬉しかった。後から二人はパソコンが出来た事が分かったが、二人と皆に感謝。

卒業後も年一回クラス会の時、近況報告を発行。ホームページ講座も助けられ「びわこシニアネット」というホームページが立ち上がる。メカに弱い私が卒業後、十五年もその「びわこシニアネット」というホームページ更新当番で、月一回学生気分を味わえるとは思っても見ませんでした。

また、二年前から水彩画にも挑戦し、去年「びわこシニアネット」の担当事務局が「シルバー作品展があるから出したらどうでしょうか」というので、私は恥ずかしいが、出すと佳作となりました。米原校は入選以上の全作品展示だが、草津校は場所の関係で、佳作以下は展示されないで残念だったが、今年も「是非出してほしい」と言われ、もう一度挑戦し佳作以上をとりたいたいが、すぐ壁にぶち当たり描けなくなる私は壁を乗り越えないと。

現在、地域でパソコンクラブのアシスタントもしており、レイ大で、沢山の体験の場を与えられ現在も続いているのは、大きな収穫でした。もし行っていなかったら、万年日曜日をどのように過ごしたかと思うとゾツとする。寿命が延び、残りの人生は長い。六十才

以上の方は、レイ大で新しい自分を見つけてみませんか。

『なんでも挑戦!』と新たなことにチャレンジすることが大事ですね!

介護とレイ大の 両立が叶って

彦根市
小宮 俊昭(73歳)



この度はレイ大創立40周年を迎えられました。事衷心よりお祝い申し上げます、お慶び申し上げます。

私は、平成20年10月、男子5名女子18名計23名の一人として米原校生活科学学科31期生として入学しました。この学科では福祉全般、地域活動、日常生活の事等本場に幅広く学ばせて頂きました。

これらの事は10年経った今でも日常の力になっていきますし、クラスの皆さんとも交流が続いています。

ただ私はこの時87歳で認知症になった実母の在宅介護の真っ最中でした。

デイサービスは週2回利用しているだけ、あとはずっと家にいるといった状況だったので2年という長丁場に耐えられるかどうか心配でした。しかしレイ大にはずっと前から何とか行きたいという強い希望を持っていたので、クラスのみさんに協力をお願いしました。

母が留守番をしてくれる時はひる弁当を作ってテーブルに置き「津がさんへ(母の名)、俊昭は老人大学に行つて3時に帰つて来ます、ルス番頼みます」と看板に書き目の前に立てて出かけました。この一言がレイ大の2年間、母と私を支えてくれました。帰る時間が遅れた時など急ぐ気持ちを抑えながら「ただいま〜」と言うと笑顔で「おかえり、早かったな〜」と言ってくれるこの言葉にどんなにホッと感謝したことか。世話をしている筈の私がこの時ほど反対に母に支えられているんだな〜とつくづく思いました。2年間母が一番の協力者でしたが平成26年97歳で亡くなりました。

今は認知症になった母の介護が縁で「公益社団法人認知症の人と家族の会」に入会し図らずも滋賀県支部の世話人代表として認知症の人と家族に寄り添い、ともに励まし合つて認知症になつても安心して暮らせる地域づくりにも貢献できたかと多くの仲間、レイ大で培ったつながりを大切に日々ボランティア活動に勤しんでおります。

レイ大を卒業できました事は今も誇りに思い、心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。レイ大がいつまでも続く事を願っています。

介護をしながら、レイカディア大学に通い、今も家族の会に入会し頑張っておられる姿は、本当に素敵です!



人生の最後の時まで 楽しく生きる

大津市
間瀬 俊子(66歳)



母が病に倒れてから、介護の仕事に興味を持ちゆくゆくは介護の仕事をしように思っていました。

しかし、いろいろな事情から5歳になつてから介護職になり、現在もフルタイムで働きながら公休を利用して大学(レイカディア大学)に通っています。

私は好奇心が強く何でも自分でやってみたい性格から、仕事や趣味などでも色々な事に挑戦してきました。あの程度の線までは努力をしなくても出ていました。しかし、ふと立ち止まって考えると、一つの事に打ち込み熟練して何かを得た人と比べ、自分には何一つ誇れるようなものが無いように思えてきました。

介護の仕事は、年齢を重ねて自分で思うように動けなくなったり、孤独で心を閉ざしてしまつた人、認知症を発症してどんどん今までの事を忘れていく不安に怯える人達を支える仕事だと思えます。其の人達が最後の日を迎える日まで、明るく接し心を癒し、いい

思い出を残せるようにするためにどうすれば良いのかを考えました。今まで色々なことに関わり、苦勞をした事や楽しかった事などの経験を、皆で共有することで老人達との心の触れ合いにとっても役に立っていると思えるようになりまし。そして、私自身が体と心の健康を学び前向き生きるためにレイ大に入学する事にしました。

最初は学業と仕事の両立は正直大変でしたが、レイ大にはいらなければ出会えなかつた前向きで個性的で明るい仲間たちと出会うことが出来ました。そして、大学祭での講座以外に集まって練習をした「マイケル・ジャクソン」の曲による老男女のダンスパフォーマンス。何せ若くないので振り付けを覚えられなくて本番ぎりぎりまで一生懸命練習をして、成功する事が出来た時、団結力が生まれ皆のすがすがしい笑顔が眩しく見えました。

クラブ活動(2個入部)にも入り学生生活を満喫しています。大学での思い出はとても良い思い出です。

就労を継続しながらも大学に通い、前向きに仲間と素敵に頑張っておられる姿が素敵です。



滋賀レイカディア 大学の思い出

大津市
首藤 優克(72歳)



大津に来て今年の4月で8年目に入り余生はこの地で迎えるでしょう！

大津に来たのは娘家族との同居でした、理由の一つは私の病氣(胆のう癌)でした。

最初の3年間は孫(下の男の子)の幼稚園の送り迎えで、往復(約50分)の行程が体力向上に役立ったと思います。

又、月に一度程嫁さんと大津をはじめ坂本、長浜、彦根、近江八幡等滋賀の名所旧跡を散策し、体力も完全に回復し、孫の世話も終わった4月に「淡海生涯カレッジ」大津校に入り益々滋賀の魅力にはまった私は、ここで7月に「レイカディア大学」の事を知り早速応募し「地域文化学科」に入学し、10月〜12月はダブルで授業を受けていました。

サラリーマン時代は同年代の人達と同じく御多分に漏れず会社人間でした。40代、50代は毎日9時〜24時、25時まで仕事(?)をして週末は寝だめの日々

でした。

レイ大の授業で私の知らない滋賀の多くの場所に行つて益々滋賀の良さを知つた事は素晴らしい時間でした。

又、多種多様な職種の学友たちとのグループワーク、懇親会、クラブ活動等々楽しい、忘れられない2年間の日々、時間でした。

卒業後も仲間とウォーキング、懇親会、新年会等がありこれからも一泊旅行等があり楽しみが続いていくでしょう。

2人に1人が癌になる時代：大きな病に罹患しながらも、多くの仲間と出会い、何でも楽しんでおられる姿は素敵ですね！



趣味から広がる
新たな仲間との世界大津市
福元 隆広(69歳)

退職して半年後、先輩から聞いていたレイカディア大学への入学から新しい世界がひらけました。何も予定のない日々から、新しい仲間と何かしたい世界に入ったと感じました。こんなことが言えるのもいい仲間との出会いがあったからだと思っています。

現在、城郭探訪会OB会、滋賀県フローティングスクール(湖の子)サポーター、レイカディア大学同窓会、レイカディアえにしの会、「和邇通信」発行などで新しく仲間を増やしながら楽しく活動しています。

また、城郭探訪は私の趣味であり、ライフワークと考えています。在学1年の終わりと同期の仲間を中心にレイカディア大学のクラブとして立ち上げました。初めは一人で行くより仲間と歩く方が楽しいだろうというくらい気持ちでしたが、参加者が多く、安全面から現役組とOB会に分けそれぞれ月1回の例会を実施し、毎回50名前後の参加があります。会誌「城郭」

も月1回発行(1月現在65号)しています。

卒業後、近江歴史回廊大学にも入学しました。そんな時、文化財保護課や博物館、サークルなどの講座や現地研修会のあることを知り参加しました。多くの方が参加されており驚きました。おかげでいろいろなところに行き城郭の見方などを学ぶことができました。

しかしそのような催しで知った人に会うことがあまりなく、寂しく感じて「和邇通信」を発行し、城郭の話や講座のレポート、講座や現地研修会の情報も掲載しました。当初は掲載する記事がなく大変苦労しましたが、何とか月1回発行することができました。それには読者の皆さんから励ましも大きな力となりました。発行から2年たち講座や研修会の開催が多く発表から開催までの期間が短いため月2回発行に切り替えました。

講座などで、レイ大関係者と同席することが多くなりました。また常連客とも顔見知りになり、情報の交換などもしています。目標は1冊の本をできれば出版したいと思っています。

最後に色々な活動を通じて感じたことは皆さん若々しくと元気な事です。まだ何もされていない方や今を物足りないと感じておられる方はぜひ一歩を

踏み出すことをお勧めします。

趣味の城郭探訪から様々なつながりができ、楽しんでおられますね



ノルディック・ウォーキングの勧め

草津市
黒川 かず江(69歳)

仕事先の企画で体力増進のため3

B体操(ポール・ベル・ベルター)を使用する体操を始め、講師資格を取得し、その関係から、レクリエーションのインストラクターの資格も取得し、退職後、滋賀県レクリエーション協会の事務局を手伝う事になりました。

その頃知人から勧められ、レイカディア大学の健康づくり学科に入学し、新しい友達と楽しく学びながら、大学の課題であるボランティア活動にかかわるため、草津健・交クラブに所属しました。

草津健・交クラブの仲間とノルディック・ウォーキングの体験会に参加し、これからの運動だと思いきいストラクターの資格を取得しました。イ

ンストラクターを取得後は、益々このポールの使用の重要性和正しい使い方の伝授が必要と思われました。

レイカディア大学のサポート隊からの要請や、各地域からの要請に体験会を開催し、参加者の皆様に楽しんで経験してもらっています。

健康寿命を延ばすには、まず足腰を鍛えることです。毎日の散歩をこのポールを使って大腿でかかかから着地すること、認知症予防にもなります。下半身の筋肉は「第2の心臓」と言われています。衰えると全身の健康にも悪影響を及ぼします。脚の筋肉の衰えが、心臓の働きを低下させます。

ノルディック・ウォーキングでの全身運動で、足の老化対策を!

これからもいろんな要請に対処して、健康寿命を延ばす元気な高齢者社会のお手伝いをしていきたいと思っています。

運動をして、健康寿命を延ばし、新しい友達を作ると楽しいですね!



滋賀県レイカディア大学は40周年を迎えます!

ここまで、様々な人生を送っておられる8人の皆さんをご紹介します。

セカンドライフをますます充実したものにするために…

何をすればよいかとまどっているみなさん。

滋賀県は2017年12月、厚生労働省が発表した都道府県平均寿命ランキング
滋賀県の男性が初の1位(81.78歳)に輝きました。女性も4位となりました。
人生100年といわれている今、まだまだ長いです。

ご紹介した8人のみなさんの共通点…

全員が60歳以上の方が入学できる**滋賀県レイカディア大学**に
入学されているのです。

そんなレイカディア大学の卒業生は平成30年現在約5,900人、

そして今年、開校40周年!を迎えます。

人生100年時代といわれる今! リカレント教育が謳われる今! 注目の大学です。



レイカディア大学って なんですか?



《校章》

この校章は、滋賀県が推進している「レイカディア構想」が指し示す自然、環境、人間の活気にみちた長寿社会の創造を指標に、人間の限らない「夢の飛翔」を象徴する紙ヒコキをデザイン化しています。

■滋賀県レイカディア大学の設立趣旨

人生100年時代を迎え、高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え、高齢者が新しい知識、教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援するためレイカディア大学を開設しています。

■入学資格

滋賀県内に居住する60歳以上の方で、通学および学習に耐えられる健康を有し、かつ地域の担い手として活動を目指す方であればどなたでも入学できます。

■入学募集期間

毎年6月～7月頃に募集します。

■授業料

各学年 前期 25,000円/後期 25,000円(年間50,000) 学習に要する教材費、傷害保険料、見学・研修の経費および自主活動に要する経費等は別途負担が必要です。

■修業年限

2年間

■授業時間

1か月あたり5～6日程度。その他の日に活動する場合があります。1日あたり4時間程度(10:00～12:00、13:00～15:00)

■授業内容

授業は、全学生が学ぶ「必修講座」とクラス単位で学ぶ「選択講座」を受講します。

- 「必修講座」(月2～3日): 地域の担い手として必要な知識、考え方、また地域活動の企画、運営方法など地域活動体験を含めながら全学生が学びます。
- 「選択講座」(月2～3日): 園芸学科、地域文化学科、健康づくり学科、びわこ環境学科、陶芸学科、北近江文化学科から1学科を選び、学科固有の知識・技法を学び、卒業後の地域活動に役立てる力を養います。
※米原校は、園芸学科、健康づくり学科、北近江文化学科を開講しています。
※草津校は、園芸学科、地域文化学科、健康づくり学科、びわこ環境学科、陶芸学科を開講しています。

■クラブ活動

草津校: 絵画、絵手紙、書道、囲碁、自彊術、フォトウォーク、卓球、グラウンドゴルフ、詩吟、城郭探訪会

米原校: 城郭探訪会

■学校行事

ボランティアの日、大学祭、課題学習、ニュースポーツ大会、地域活動体験学習など

1) レイカディア 明るい長寿社会を拓く湖の理想郷づくり
レイカディアとは、レイク(湖)とアルカディア(ギリシャ神話の楽園理想郷)の合成語で、「湖の理想郷」を意味します。
滋賀県では、誰もが生きいきと豊かに暮らせる明るく長寿社会を創造する新たな郷土づくりをめざしています。
「滋賀県レイカディア大学」の名称はこれに由来しています。



レイカディア大学のあゆみ

1978年（昭和53年）、ひとつのシニア大学が琵琶湖のほとりに誕生しました。場所は近江八幡市中央公民館の中、今から数えて40年もの昔々の話です。当時の名称は「滋賀県老人大学校」でした。第1期生は1年制で、第2期生から現在の2年生を導入、その後大津校（現草津校）と米原校の2校化や学科の見直し、休校問題の克服など幾多の変遷を経て、現在の「レイカディア大学」へと至りました。

- 昭和53年(1978)7月 滋賀県老人大学校開校
▶会場：近江八幡市中央公民館／1年制／4学科(園芸、陶芸、生活科学、福祉)／定員80名／滋賀県老人クラブ連合会が運営受託
- 昭和54年(1979)9月 修学年限を2年制に拡充、文芸学科新設
▶福祉学科の内容を必修講座に取り込み、園芸、陶芸、生活科学、文芸学科の4学科に再編
教室を大津市に移転(厚生会館)
- 昭和56年(1981)10月 定員を100名に拡充(80名から)
- 昭和58年(1983)10月 米原校開設(県立文化産業交流会館内)
▶4学科(園芸、生活科学、文芸、スポーツ・レクリエーション学科)／定員80名
- 昭和63年(1988)10月 レイカディア振興財団(平成2年3月設立)に運営委託
大津校を県立長寿社会福祉センター(平成5年7月竣工)に移転、草津校としてスタート
名称を「滋賀県レイカディア大学」に改称
草津校にスポーツ・レクリエーション学科新設するとともに、定員を120名に拡充(100名から)
▶草津校：5学科(園芸、陶芸、生活科学、文芸、スポーツ・レクリエーション学科)
- 平成2年(1990)4月 校歌「レイカディア讃歌」を制定
- 平成5年(1993)7月 滋賀県社会福祉協議会に運営委託
10月 必修講座に地域活動体験学習を追加
- 平成6年(1994)3月 県の指定管理事業で滋賀県社会福祉協議会が指定管理者として運営
- 平成15年(2003)4月 第30期生より「文芸学科」を廃止、新たに「地域文化学科」を設置
- 平成17年(2005)10月 第32期生より「スポーツ・レクリエーション学科」を「健康・レクリエーション学科」に改編
- 平成18年(2006)4月
- 平成19年(2007)10月 **県の財政難により、レイカディア大学休校の方針表明**
県はレイカディア大学の果たしてきた地域活動への貢献等を考慮し、卒業生、在校生との協働他、運営の見直しを条件に継続を決定
- 平成21年(2009)10月 第33期生より定員の見直し等の再編を実施。これに伴い米原校地域文化学科を廃止
▶草津校：5学科(園芸、陶芸、生活科学、地域文化、健康・レクリエーション)／定員145名(従来は120名)
▶米原校：3学科(園芸、生活科学、健康・レクリエーション)／定員70名(従来は80名)
- 平成22年(2010)5月 第35期生より学科の見直し等の再編を実施。これに伴い草津・米原両校生活科学学科、健康・レクリエーション学科を廃止し、両校に健康づくり学科、草津校にびわこ環境学科、米原校に北近江文化学科を新設
▶草津校：5学科(園芸、陶芸、びわこ環境、地域文化、健康づくり)／定員145名
▶米原校：3学科(園芸、北近江文化、健康づくり)／定員70名
- 10月 第33期生より定員の見直し等の再編を実施。これに伴い米原校地域文化学科を廃止
▶草津校：5学科(園芸、陶芸、生活科学、地域文化、健康・レクリエーション)／定員145名(従来は120名)
▶米原校：3学科(園芸、生活科学、健康・レクリエーション)／定員70名(従来は80名)
- 平成24年(2012)10月 第35期生より学科の見直し等の再編を実施。これに伴い草津・米原両校生活科学学科、健康・レクリエーション学科を廃止し、両校に健康づくり学科、草津校にびわこ環境学科、米原校に北近江文化学科を新設
▶草津校：5学科(園芸、陶芸、びわこ環境、地域文化、健康づくり)／定員145名
▶米原校：3学科(園芸、北近江文化、健康づくり)／定員70名



▶初期の頃の授業風景



平成22年6月9日→朝日新聞掲載

★この方針に対して、レイカディア大学OBや在校生など多くの県民の方から大学継続の要望が県に寄せられた。
★大学の運営主体である滋賀県社会福祉協議会においては、学識経験者や地域関係団体、企業関係者、レイカディア大学関係者等を構成員とする「レイカディア大学休止に伴う再編検討会」が設置され、平成22年3月、大学再編についての提案書が県に提出された。
★これらを踏まえて、県はレイカディア大学の方向性について検討し、大学の果たしてきた地域活動への貢献や社会的、文化的役割に鑑み、厳しい財政事情であるが、卒業生、在校生と協働した運営を行うことで平成22年5月、大学の継続を決定した。

- 平成22年6月 第33期学生募集を開始(入学生の受け入れ) レイカディア大学をサポートする隊の設置に向けての打合せ会を開催
- 平成22年10月 第33期生入学式
- 平成22年10月20日 レイカディア大学草津校サポート隊発足式、平成23年4月27日 レイカディア大学米原校サポート隊発足式

平成19年当時を振り返る —レイカディア大学休学の危機に直面して

草津校初代サポート隊長 増山 元彦 さん (76歳)

私たち30期生が卒業してすぐに次々年度からレイ大がなくなるという情報が入ってきました。理由はレイ大がその使命を終えたということではなく、県の財政難だということでした。ならばと、私は30期の各学科長に呼び掛けて存続の運動を立ち上げました。問題を二つに絞りました。一つは財政難といいながら、当局がどれほどレイ大の経費全般について理解しているのか。二つはレイ大の過去の多くの卒業生が県下各地で活躍している実態をどこまで知り、どのように評価をしているのかということです。この二つについて、当局が毎年厳しく査定して、次年度の運営の改善点を見つけて出しているようには見えませんでした。ならば、卒業生がこの二点について協力をいたします。財政難の問題も解決しますという提案をしました。それが「サポート隊」創設の原点です。当局に求めるばかりでなく、学生・卒業生側もレイ大を支えるために活動をいたしますという提案です。こうした提案は当局のかたくなな発想を変えさせるために一定のインパクトがあったと考えています。結果「共働」を条件に存続が決まりました。現役の皆さん・サポート隊の皆さんには、この原点をしっかり踏まえていただいて、時代の変化に対応したレイ大の在り方を求めて常に改良、改善を加えることで、力強く前に進んでいただきたいと願っています。



『～人生に期待されて生きる～』

児童文学作家 (レイカディア大学 地域文化学科 元講師)

今関 信子 先生より



「人生」を考えると、私は、クリス・ムーンさんを思い出します。

地雷除去のボランティアをしていて、右の手と足を失った彼は、長野オリンピックの最終聖火ランナーとなりました。「まさか」の出来事が起きたとき、誰もが「失った」ことを残念がりました。彼も途方に暮れます。が、ある日、「ある。自分はなくなっていない」と気が付きます。そこから、彼は、生きる力があふれ、予測していなかった活動が開かれていきます。

以前、私の取材に応じてくれた彼は、日本の読者に、「人生には、あの人にもこの人にも、同じ事が起こる訳じゃない。それに能力だって、同じだけ与えられていない。貴方の人生は、貴方に期待しているんだ」と伝えてほしいと言いました。無いから在るへ、見方を転換したクリスさんは、自分の人生が自分の生き方に期待していると感じたのだそうです。

レイカディア大学で、手作り紙芝居の講座を持たせていただいた時、戸惑う学生さんに出会ったこと

があります。講座の内容を予測していなかったのでしょう。拒否する方とチャレンジする方の二方向に分かれました。チャレンジした方は、新しい局面に柔軟に対応していたようです。この対応の仕方、「まさか」のことだから、面白いことが起こるかもと、好奇心を持つことが出来たら、人生は新鮮であり続けるのではないのでしょうか。

七十五歳の誕生日に、「バッチャン、百さいへの道」とタイトルが付いた絵手紙が、孫から届きました。人生を歩むバッチャンが表現され、七十五歳地点で旗を振る孫が、「百さいめざし、あと二十五年、がんばれ」と声を掛けています。バッチャン馬鹿で言われてもらえば、期待して私をみつめている目があると、やる気が刺激されるんだなあ、と改めて思いました。貴方の人生は、貴方に期待して、貴方の今を見つめています。



滋賀県のシニア大学といえは
『レイカディア大学』
広く認識していただける大学を目指します!
あなたも滋賀県レイカディア大学に入って、
新しい一歩を踏み出しませんか?
毎年、6月頃から新入生を
募集しています。

入学は
10月



■レイカディア大学に関するお問い合わせ・ホームページ

(福) 滋賀県社会福祉協議会 〒525-0072 滋賀県草津市笠山七丁目8-138 / TEL:077-567-3901

●ホームページ: <http://www.e-biwako.jp/> (びわこシニアネットにレイカディア大学について掲載されています。)

～情報誌『じゅげむ』“アクティブシニアになるヒント”

今回発行した「じゅげむ臨時号」の感想や、「シニアのこういうヒントが欲しい!」という皆さまのご意見を、滋賀県社会福祉協議会レイカディア振興担当までお寄せください。『じゅげむ』をより、皆様のヒントとなる情報誌となるよう反映させていただきます。

●メール: lacadia@shigashakyo.jp

●おハガキ: 〒525-0072 滋賀県草津市笠山七丁目8-138 長寿社会福祉センター内 じゅげむ編集室 宛



福祉フォーラムとは

龍谷大学福祉フォーラムは、様々な分野や広範な人々との連携・協力を創りだし、社会福祉のさらなる発展をめざして設立しました。

このフォーラムでは、「共生」と「協働」をキーワードに活動し、社会のすべての構成員がみな等しく、生き生きと人間らしい暮らしができる地域づくりのために、「福祉」という切り口から、大学、地域住民、当事者、くらしやいのちにかかわる専門職、学生、NPOなどの市民セクター、行政セクター、企業セクターなど多様な立場の人々がつどい「協働」していく場です。そして、地域福祉やまちづくりに関心をもつ人々とともに、「共生」をキーワードに新しいまちづくりを考えていきます。

事業概要

「福祉フォーラム」の開催

「福祉フォーラム」は講演会やシンポジウム、分科会、実践報告などを組み合わせて、多彩なテーマに基づき開催します。福祉フォーラム会員、地域住民、学生、それぞれのテーマの専門職や当事者の方が対象です。

＜過去の取り組み＞

福祉フォーラム2016

「子どもの貧困問題に
取り組む人々を支える」

講演：村井 琢哉 氏 (NPO法人山科機関こどものひろば理事長)

福祉フォーラム2017

「障がいのある人への意思決定支援
～オーストラリアの実践から学ぶ～」

講演：シェア・ニコルソン 氏 (SDM Original Trainer)
デビー・ノーレス 氏 (SDM Trainer)

公開講座「共生塾」の開講

「共生塾」は、社会問題や社会福祉課題についての具体的なテーマを取り上げ、ワークショップ等を取り入れた参画型の講座を行います。福祉フォーラム会員やそれぞれのテーマの当事者、専門職、地域住民などが対象です。

＜過去の取り組み＞

第15回共生塾(2016年度)

「HELLO コレからはじまり
『アートで繋がる集団について』」

講演：山下 完和 氏(やまなみ工房施設長) 他

第16回共生塾(2017年度)

「地域で活躍する人材の育成について」

講演：岡野 英一(龍谷大学社会学部教授) 他

「専門セミナー」の開講

「専門セミナー」は医療、教育、福祉などの現場で直面する問題についての解決策や展望を学びます。福祉フォーラム会員とそれぞれのテーマの専門職の方が対象です。

＜過去の取り組み＞

第18回専門セミナー(2017年度)

「各市町家庭児童相談室・
県子ども家庭相談センター共同研修
～語りから未来を紡ぐ～」

講師：笠井 賢紀(龍谷大学社会学部准教授)

第19回専門セミナー(2017年度)

「子どもの貧困と支援者
-支援を巡る戸惑いと可能性-」

講師：山田 容(龍谷大学社会学部准教授)

福祉フォーラム入会案内

福祉フォーラムは会員制の組織です。

- 年度会費 / 2,050円
- 申込方法 / ホームページから手続き、または龍谷大学福祉フォーラム事務局までお問い合わせください。
- 申込先 / ホームページ <http://www.soc.ryukoku.ac.jp>
福祉フォーラム事務局 TEL.077-544-7291

会員特典

1. フォーラム事業(講座、フォーラム等)に会員割引にて参加出来ます。
2. 龍谷大学教員と協力して、新しい研究会の企画や運営に関わることが出来ます。
3. 福祉フォーラム通信をお送りいたします。
4. 龍谷大学図書館(深草・大宮・瀬田)を利用できます。

※図書館の利用には、別途手続きが必要です

お問い合わせ

龍谷大学福祉フォーラム事務局(REC 滋賀)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
Tel 077-544-7291 Fax 077-543-7771
E-mail r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/>
(受付時間:月曜日～金曜日 9:00～17:30)

※土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日は、受付業務を行っておりません。

瀬田キャンパス

Access

- JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学行き」(約8分)
- 名神瀬田「瀬田西IC」(名古屋方面から)より
文化ゾーン方向へ車で約5分

【駐車場有】 ※駐車台数に限りがあります。



福祉フォーラムは、会員の皆様と一緒に「福祉」について考えていきます。皆様のご入会をお待ちしております。

